

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスばっ歩		
○保護者評価実施期間	R6年 3月 4日 ~ R6年 5月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	R6年 7月 19日 ~ R6年 7月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 7月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフの定着率の高さと、ミーティングの充実	朝の時間は全てミーティングに使っている。 職位を問わず意見を出し合える社風を大事にしている。	研修などでスタッフ一人一人の知識や見識を広げ、専門性を深めてより良い支援に繋げたい。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者交流や保護者向けの支援の充実を図る事が難しい。	就労されている保護者向けに行うためには、保護者の勤務日を避け、児童の預かり先を用意する必要がある。	保護者のニーズをよく聞き取り、スタッフと話し合って何ができるか調整し、利用者と事業所で共に、行事や勉強会などを作っていく等、お互いで課題抽出と取組を行えればと思う。
2		平日は現場支援があり、休日を割くとなるとスタッフに負担がかかるため、実現が困難。	
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 年月日					
		利用児童数 年月日			回収数 30		
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	4			・最近部屋を見ていらないから分からない 1Rという特質上、自由度の高い空間とは言えない。活動別に構造化したり、場所を使う活動は全体で取り組む事で広く場所を確保する等、事業所内での取り組み方に工夫をする事でスペースを有効に活用している。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	7			・最近部屋を見ていらないから分からない 全体スケジュールを表示する場所、個別のスケジュールを提示するトランジションエリア等を新たに設置した。家庭に	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っているだと思いますか。						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	4			・よくわからない ・コロナetc関係で以前のようなプログラムは難しいのかなと思う	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	21	2		・よくわからない ・利用が浅いので分からぬ	
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	30					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	18	4		・進路の事も聞けたらいいなあと思う	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	4				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	3	1		・もう少しInstagram等を更新してほしい	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	29	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26	4				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	30					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスばつ歩				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2	活動内容や滞在時間、利用児童数等に応じて戸外活動も含めながら、現状のスペースに閉塞感を感じないよう工夫している	児童の平均年齢に対して、スペースを狭く感じる時が出てきた。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0	てんかんや基礎疾患のある児童に対応できるよう、専門性のあるスタッフを配置している。		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	7	児童の発達と特性に応じて必要な表示をしている。	避難経路やトイレの都合上、車椅子対応をしていない為、肢体不自由児の受け入れができない。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	児童の成長に合わせて配置する設備や、遊び道具等を入れ替えている。	大物家具の下に敷いている電気カーペットの下等、細部の掃除を行き届かせたい。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	その場にいる児童の状態に応じて優先順位に配慮しながら、自由に活用できるようにしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	雇用スタッフは終日勤務が基本であるため、常勤・非常勤等の雇用形態を問わず、ケース会議や支援方針等の話し合いに広く参画している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	年間1～2回の保護者向けアンケートにて、保護者のご意向の把握に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3	職位問わず意見を交わせる社風を心がけている。	改善した業務内容を共有するツールに乏しい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	7	決められたフォーマットでの外部評価は現行実施していない。育成事業を通して、外部の視点を取り入れる等、閉鎖的な環境にならないよう配慮している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	外部研修時は出勤扱いとし、研修受講料は補助する等、研修を受けやすい体制を整えている。		
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。				5領域をふまえた事業所全体の支援プログラムにおいては現在、経過措置期間のため作成中である。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	児童ごとに各担当を設け、担当主導の上で現場状況を把握し、児童発達支援管理責任者主導の上に保護者のニーズや課題を客観的に分析し、ケース会議を設けて計画に落とし込んでいる。	細やかに行うほど、時間と事務作業が増えてしまう。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	モニタリング作成の時点で職員が関わっている為、支援計画作成時には職員の意見が反映される仕組みになっている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		全児童の計画が、全スタッフに滞りなく共有されるような仕組みを作る事ができていない。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	4	公共機関で実施されたWISC等の検査結果は控えをいただきて職員間で共有している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	8		家族支援においては、必要・不必要や、自事業所のサービスの枠組みでできる・できないが問われやすく、子どもファーストで設定する事が難しい状況が多々ある。	

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	企画から進行、振り返りまでを職員間でミーティング時に話し合って実施している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	制作や季節のイベント等、変化を楽しむプログラムと、日常遊びの中であえて固定化して経験を積み、成長を促すプログラムとで使い分けている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	環境への順応度や、障がい特性に応じて、個別活動と集団活動それぞれでの課題を抽出し、計画を作成して支援を提供している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	午前の時間をすべてミーティングにあて、午後からの支援に備えている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	5	送迎のないスタッフ、送迎から早く帰ってきたスタッフについては振り返りを実施している。基本的には翌朝のミーティングで話し合っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	ミーティングをしながら振り返り、複数人のスタッフの前で記録をとっている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	現場スタッフの意見も交えて実施している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	0	10		事業所の取組として4つの基本活動を心がけて取り組んでいるつもりではあるが、全児童へ一律にその機会を提供する事に困難を感じている。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0	長期休暇期間には子ども一人ひとりが「今日やりたい遊び」を発表し、実施できるよう支援している。おやつや誕生日プレゼント等、ほしいものを選択・要求できる機会を提供している。	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	2	基本的には児童発達支援管理責任者が参画している。また、会議前には現場スタッフと内容を精査して、偏った視点にならないよう工夫をしている。	
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	4	相談支援事業所や保育所等訪問支援等を経由して各関係機関と連携を行う事のできるよう、日頃から関係性作りと情報共有に努めている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	3	トラブル防止のため、基本的には保護者を介して情報共有を行っている。場合によっては保護者の了承の下、直接学校とやり取りをするケースもある。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	10	児童発達支援事業所との連携事例はある。主には相談支援や保育所等訪問支援から情報提供してもらう事が多い。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	10	相談支援事業所がコーディネートした担当者会議にて、情報共有をする機会がある。	卒業後の進路は主に、保護者や教育機関が担っている文化の中で、今や複数事業所の利用が当たり前な放課後等デイサービスの中の一事業所が、進路先と個々にやり取りをする事について、文化的なハードルを高く感じている。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	10		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8	2	近所のフリースクール兼カフェへ月に1回、駄菓子を買いに行く機会を児童に提供している。その場でフリースクール利用者や地域の小学生と交流する機会を持つ事ができている。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	10	自立支援協議会への参画を目指して各所と連携をとっているが、児童部会の起ち上げに至っていない。	

	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	毎回の連絡帳および、送迎時に、時には動画等も用いながら保護者へ日中の様子を伝えている。また、内容によっては電話やメール等、児童に情報の入らないところで課題共有し、保護者との共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	0	月に1回、地域および家族支援の一貫として交流や研修の機会を提供している。	事業所の営業時間内で行うため、必然的に平日の午前中となってしまう。ほとんどの保護者が就労している為、参加しにくい状況が課
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0	運営規定については重要事項説明書にならつて説明をしている。利用者負担については、最新の報酬額を時には別添資料を作成した上で隨時説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	保護者のニーズ調査をアンケート形式で問う他、随時面談を行っている。また、児童についても必要に応じて、利用時間内に面談を行って意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0	面談形式で説明を行い、同意のサインをいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	半年に1回の面談時に聞き取る他、電話やメール・送迎時等、普段から生活状況の把握に伴って確認するように心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	7	年間1～2回、100名規模の音楽療育イベントを開催しており、ご家族でのご参加を推奨している。	コロナ以降、保護者会の開催が実現できていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	6	ご意見をいただいた際に、一律の初動対応を行えるようマニュアルを整備している。情報の開示については、ご意見をいただいたご家族の匿名性に配慮して、可能な範囲で周知するようしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	7	通信誌の担当を決めて年3回の発行を今年度より志している。 活動概要および行事予定については毎月、申込用紙配布時に提供し、ご利用の参考にしていただいている。	通信誌やSNS等のシステムを構築してはいたが、人手不足により定期的な継続が困難。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	2	秘匿資料については鍵付ロッカーにて保管している。 又、通信誌やSNSにおける個人情報の取り扱いについては、ご希望の公開範囲と署名をいただいている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	2		現状、意思の疎通や情報伝達のために配慮が必要な状況に立った事がない為、実施していない。グローバルデザインを意識した、重要書類の改定等を今後検討したい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6	年1～2回実施している音楽療育イベントには障害福祉サービス機関に広く周知し、年齢問わず招待している。又、近隣センター内の商業施設と連携して季節のイベントを実施している。	
非常時	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	7	今年度、すべて見直しを行い、業務安全計画にて各訓練を実施するよう策定している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	8	業務安全計画上にて計画の見直し時期および訓練時期を策定している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0	看護師主導により独自のフォーマットを用いて一元管理している。	予防接種についての情報管理は行っていない。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	10	医師の指示による投薬状況や、アレルギーの検査結果票の確認等を適宜、行っている。	医師の指示書が必要な状態が現状ない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	5	今年度より安全計画を作成し、現場スタッフに担当を割り当てて、全員がまんべんなく管理意識を持つ事のできるよう工夫している。	

等の対応	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	10		ご家族への周知は失念していた為、今期実施していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	3	ヒヤリハット発生時には上位職が確認し、スタッフミーティングに取り上げて再発防止にむけて取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	2	虐待防止研修のほか、具体的な支援方法についての勉強会、スタッフの困りごとを取り扱ったケース会議等で、困り感の少ない支援体制の整備を心がけている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0	身体拘束の必要性が懸念される児童においては、それぞれのアセスメント段階からスタッフで情報共有を行い、なぜ必要なのか、何が必要なのかを話し合っている。また、保護者には必ず面談にて説明し、ご納得いただいた上で計画に署名いただいている。	